

講演テーマ 「写真家の愛用カメラ～今昔を語る」

講師 写真家 赤城耕一氏

- 日時 2016年5月18日(水)
- 場所 コリサーチ株式会社地下ホール
- 参加人数 17名
- 担当幹事 高木貢一



赤城耕一氏のプロフィール

1961年東京生まれ 東京工芸大学卒 出版社を経てフリーに。

雑誌、コマーシャル、企業PR誌などで人物撮影を主に担当。

アサヒカメラをはじめ雑誌の連載多数。

おもな著書に、「ドイツカメラへの旅」、「銀塩カメラ至上主義」、「レンズ至上主義」、「ズームレンズは捨てなさい」、「銀塩カメラ辞典」、ほか多数。

写真家である赤城先生は、ハードとしてのカメラ、レンズへの造詣も深く、雑誌への寄稿、単行本の出版など数多くのアマチュア向け啓蒙活動をこなされています。わかりやすく、ときにユーモアを交えての先生の文章は、読む者を飽きさせません。

今回の講演では、有名写真家がお気に入り(あるいは自慢?)のカメラとともに写ったスライドを見せていただきました。普段は撮る側が撮られているという、ポジネガな逆転の発想であるだけに興味深く拝見いたしました。とくに、アラーキー(荒木経惟)氏の撮影現場の写真は、その非日常性からくる強烈な印象を焼き付けるのに十分なものでした。プロの写真集をもっと数多く見なければいけない、と感じ入ったと思います。

懇親会に移ってからは、相当な左党の先生をはじめ、日本カメラ博物館学芸員の市川さんらとともに、カメラ談義がおおいに盛り上がりました。いくらカメラがはずれたのも、みなさんカメラ好きである点で、お許しいただこうと思います。

(担当幹事 高木貢一)



懇親会場「丸福」にて

